



## 子どもが創る学校

3月2日、飼育栽培委員会が「花いっぱい集会」を企画してくれました。6年生の卒業に向けて、学校を花いっぱいにするという取組です。当日は、準備、進行、説明など、みんなで協力しながらしっかり取り組んでくれました。



## たくさんの花に囲まれた卒業を!~花いっぱい集会~



3月2日(木)、飼育栽培委員会主催で、「花いっぱい集会」が開かれました。「学校を花でいっぱいにして、気持ちよく6年生に卒業してもらいたい」という全校児童の思いが込められた集会です。集会では、掃除等、いつもいっしょに活動する縦割りグループごとにプランターに花を植えました。一人一株の花ですので、たくさんの花が中庭に置かれました。縦割り班では、5年生がリーダーとなり、1年生から4年生までの子どもたちに優しく声をかけながら取り組んでいました。一人一人の思いが花に込められこれまでお世話になった6年生への感謝の気持ちが伝わります。6年

生の卒業に向けた全校での取組は、リーダーとして受け継ぐ5年生を成長させると共に、「6年生のために…」といった感謝の思いを膨らませることにつながっています。いつか、「6年生のように…」そして、卒業プロジェクトに取り組む「5年生のように…」と、思いをめぐらせてほしいと思っています。



## 受け継ぐ ~バトンタッチ集会~

3月3日(金)、5・6年生による「バトンタッチ集会」が行われました。「バトンタッチ集会」とは、リーダーとして、1年間東小田小学校を引っ張ってきた役割と責任を5年生が受け継ぐ集会です。集会では、リーダーとして受け継ぐための6年生に対する質問や互いに手紙を渡し合い、感謝の気持ちや期待を伝え合う場が設定されました。手紙を渡し合う子どもたちの姿は、笑顔で溢れ、手紙を見入る子どもたちの姿に心が温かくなりました。…そして、6年生から5年生へのメッセージが伝えられました。

① 仲間を大切にすること ② 学び続けること ③ 役割と責任を果たすこと

真剣なまなざしで、6年生のメッセージを受け取る5年生の姿、これまで学校のリーダーとして頑張ってきた6年生の気持ちが伝わります。受け継ぐ5年生は、誓いの言葉として、縦割り班活動や委員会活動での役割と責任を果たすことはもちろん、「あたりまえのことが、あたりまえにできる」そういった6年生への決意を伝えてくれました。東小田小学校は、そんな子どもたちに支えられています。卒業まであと10日余り、バトンを渡すその日まで、「互いに、自分たちの姿を見ていてください。」と最後に伝え合いました。頼もしい5・6年生です。



### 東小田小の自慢

先日、3年生のある学級が、「私たちの学校自慢」発表会をするので、見に来てくださいと声をかけてくれました。楽しみにしながら教室に入ると、それぞれのグループが、「東小田小の自慢」を発表してくれました。

「なみの木(KEI)」  
「運動会」「持久走大会」  
「なのみ拭き」  
「卒業プロジェクト」等々。

「自慢」は、みなさんが、一生懸命頑張ってる証です。そうではないけれど、「自慢」にはならないですね。みんなの一生懸命頑張ってきたことがわかります。皆さんの学級の自慢はなんですか。

と尋ねました。すると、たくさんの子どもたちがすぐに手を挙げて発表してくれました。発表できなかった人も手を挙げてなかった人も、きつと、自分の学級の自慢を持っていることでしょう。

その言葉に、多くの子どもたちが大きく頷きました。自分の学級の「自慢」をすぐに話せる子どもたち。学級みんなで頑張ってきた証だと感じます。そんな子どもたちが、東小田小学校の「自慢」です。